

令和8年度  
教科名等 **地理歴史** 科

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
地理探究	3	A B D	4	必修選択	156 時間

**教科担当・教材等**

授業担当者名	
教科書	新詳地理探究(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)
使用教材等	新詳地理資料COMPLETE2026(帝国書院)、新地理要点ノート(啓隆社)

**科目の目標**

学習目標	<p>【知識・技能】世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題の理解。 世界の諸事象の規則性や傾向性などを系統的に、世界の諸地域の構造や変容などを地誌的に考察した上で、現代日本に求められる国土像の在り方について構想する科目で、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする学習過程を前提に、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題などを理解する。 ・地図や地理情報システムを用い、地理的な情報を調べとめる技能。 「地理総合」で習得した地理的な技能を、「地理探究」で学ぶ内容に即して、さらに実践的な技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】地理的事象を系統的に、地誌的に、多面的・多角的に考察する力。 ・地理的な課題の解決に向けて構想する力。 ・考察、構想したことを説明したり、議論したりする力。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>
------	---

**年間授業計画**

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<p>第1章の目標 【知識・技能】地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考・判断・表現】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。</p>	<p>第1章 自然環境 1節 地形 2 2節 気候 3 3節 日本の自然環境 4 4節 地球環境</p>	<p>第1章の評価基準 【知識・技能】地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
2	<p>第2章の目標 【知識・技能】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考・判断・表現】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。</p>	<p>第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食料問題 3節 エネルギー・鉱産資源 4節 エネルギー問題 5節 工業 6節 第3次産業</p>	<p>第2章の評価基準 【知識・技能】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
3	<p>第3章の目標 【知識・技能】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関する問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考・判断・表現】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。</p>	<p>1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏</p>	<p>第3章の評価基準 【知識・技能】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関する問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進捗が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。